

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合 I			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	初級～中級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日常生活に困らない日本語力を身につける			
教科書	みんなの日本語初級 I、II 第 2 版本冊（スリーエーネットワーク）			
特記				
授業計画	1	第1課（練習A・B・C、問題）	31	第26課（練習A・B・C、問題）
	2	第2課（練習A・B・C、問題）	32	第27課（練習A・B・C、問題）
	3	第3課（練習A・B・C、問題）	33	第28課（練習A・B・C、問題）
	4	第4課（練習A・B・C、問題）	34	第29課（練習A・B・C、問題）
	5	第5課（練習A・B・C、問題）	35	第30課（練習A・B・C、問題）
	6	確認テスト	36	確認テスト
	7	第6課（練習A・B・C、問題）	37	第31課（練習A・B・C、問題）
	8	第7課（練習A・B・C、問題）	38	第32課（練習A・B・C、問題）
	9	第8課（練習A・B・C、問題）	39	第33課（練習A・B・C、問題）
	10	第9課（練習A・B・C、問題）	40	第34課（練習A・B・C、問題）
	11	第10課（練習A・B・C、問題）	41	第35課（練習A・B・C、問題）
	12	確認テスト	42	確認テスト
	13	第11課（練習A・B・C、問題）	43	第36課（練習A・B・C、問題）
	14	第12課（練習A・B・C、問題）	44	第37課（練習A・B・C、問題）
	15	第13課（練習A・B・C、問題）	45	第38課（練習A・B・C、問題）
	16	第14課（練習A・B・C、問題）	46	第39課（練習A・B・C、問題）
	17	第15課（練習A・B・C、問題）	47	第40課（練習A・B・C、問題）
	18	確認テスト	48	確認テスト
	19	第16課（練習A・B・C、問題）	49	第41課（練習A・B・C、問題）
	20	第17課（練習A・B・C、問題）	50	第42課（練習A・B・C、問題）
	21	第18課（練習A・B・C、問題）	51	第43課（練習A・B・C、問題）
	22	第19課（練習A・B・C、問題）	52	第44課（練習A・B・C、問題）
	23	第20課（練習A・B・C、問題）	53	第45課（練習A・B・C、問題）
	24	確認テスト	54	確認テスト
	25	第21課（練習A・B・C、問題）	55	第46課（練習A・B・C、問題）
	26	第22課（練習A・B・C、問題）	56	第47課（練習A・B・C、問題）
	27	第23課（練習A・B・C、問題）	57	第48課（練習A・B・C、問題）
	28	第24課（練習A・B・C、問題）	58	第49課（練習A・B・C、問題）
	29	第25課（練習A・B・C、問題）	59	第50課（練習A・B・C、問題）
	30	確認テスト	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合 I			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	初級～中級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日常生活に困らない日本語力を身につける			
教科書	みんなの日本語初級 I、II 第 2 版本冊（スリーエーネットワーク）			
特記				
授業計画	61	第1課・第2課（練習A・B・C、問題）応用	91	まとめテスト①
	62	第3課・第4課（練習A・B・C、問題）応用	92	まとめテスト②
	63	第5課・第6課（練習A・B・C、問題）応用	93	まとめテスト③
	64	第7課・第8課（練習A・B・C、問題）応用	94	まとめテスト④
	65	第9課・第10課（練習A・B・C、問題）応用	95	まとめテスト⑤
	66	確認テスト	96	まとめテスト⑥
	67	第11課・第12課（練習A・B・C、問題）応用	97	まとめテスト⑦
	68	第13課・第14課（練習A・B・C、問題）応用	98	まとめテスト⑧
	69	第15課・第16課（練習A・B・C、問題）応用	99	まとめテスト⑨
	70	第17課・第18課（練習A・B・C、問題）応用	100	まとめテスト⑩
	71	第19課・第20課（練習A・B・C、問題）応用		
	72	確認テスト		
	73	第21課・第22課（練習A・B・C、問題）応用		
	74	第23課・第24課（練習A・B・C、問題）応用		
	75	第25課・第26課（練習A・B・C、問題）応用		
	76	第27課・第28課（練習A・B・C、問題）応用		
	77	第29課・第30課（練習A・B・C、問題）応用		
	78	確認テスト		
	79	第31課・第32課（練習A・B・C、問題）応用		
	80	第33課・第34課（練習A・B・C、問題）応用		
	81	第35課・第36課（練習A・B・C、問題）応用		
	82	第37課・第38課（練習A・B・C、問題）応用		
	83	第39課・第40課（練習A・B・C、問題）応用		
	84	確認テスト		
	85	第41課・第42課（練習A・B・C、問題）応用		
	86	第43課・第44課（練習A・B・C、問題）応用		
	87	第45課・第46課（練習A・B・C、問題）応用		
	88	第47課・第48課（練習A・B・C、問題）応用		
	89	第49課・第50課（練習A・B・C、問題）応用		
	90	確認テスト		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	中級～上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のB2程度の日本語力を身につける			
教科書	中級を学ぶ中級前期第2版（スリーエーネットワーク）／テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版（研究社）			
特記				
授業計画	1	第1課 音楽と音の効果	31	第6課 つたえる 復習
	2	第1課 音楽と音の効果 復習	32	第7課 かざる
	3	第2課 いい数字・悪い数字	33	第7課 かざる 復習
	4	第2課 いい数字・悪い数字 復習	34	第8課 おもいこむ
	5	第3課 「面白い」日本	35	第8課 おもいこむ 復習
	6	第3課 「面白い」日本 復習	36	第9課 まもる
	7	第4課 くしゃみ	37	第9課 まもる 復習
	8	第4課 くしゃみ 復習	38	第10課 なれる
	9	確認テスト	39	第10課 なれる 復習
	10	第5課 私の町	40	確認テスト
	11	第5課 私の町 復習	41	第11課 つながる
	12	第6課 この日に食べなきゃ、意味がない！	42	第11課 つながる 復習
	13	第6課 この日に食べなきゃ、意味がない！ 復習	43	第12課 わける
	14	第7課 お相撲さんの世界	44	第12課 わける 復習
	15	第7課 お相撲さんの世界 復習	45	第13課 おもいだす
	16	第8課 第一印象	46	第13課 おもいだす 復習
	17	第8課 第一印象 復習	47	第14課 みなおす
	18	確認テスト	48	第14課 みなおす 復習
	19	第1課 まなぶ	49	第15課 ふれあう
	20	第1課 まなぶ 復習	50	第15課 ふれあう 復習
	21	第2課 みつける	51	確認テスト
	22	第2課 みつける 復習	52	第16課 うたう
	23	第3課 たべる	53	第16課 うたう 復習
	24	第3課 たべる 復習	54	第17課 なおす
	25	第4課 たとえる	55	第17課 なおす 復習
	26	第4課 たとえる 復習	56	第18課 はなれる
	27	第5課 あきれる	57	第18課 はなれる 復習
	28	第5課 あきれる 復習	58	第19課 かなえる
	29	確認テスト	59	第19課 かなえる 復習
	30	第6課 つたえる	60	第20課 おぼえる
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	中級～上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のB2程度の日本語力を身につける			
教科書	中級を学ぶ中級前期第2版（スリーエーネットワーク）／テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版（研究社）			
特記				
授業計画	61	第20課 おぼえる 復習	91	第16課 うたう 応用
	62	確認テスト	92	第17課 なおす 応用
	63	第1課 音楽と音の効果 応用	93	第18課 はなれる 応用
	64	第2課 いい数字・悪い数字 応用	94	第19課 かなえる 応用
	65	第3課 「面白い」日本 応用	95	第20課 おぼえる 応用
	66	第4課 くしゃみ 応用	96	確認テスト
	67	確認テスト 応用	97	まとめテスト①
	68	第5課 私の町 応用	98	まとめテスト②
	69	第6課 この日に食べなきゃ、意味がない！ 応用	99	まとめテスト③
	70	第7課 お相撲さんの世界 応用	100	まとめテスト④
	71	第8課 第一印象 応用		
	72	確認テスト		
	73	第1課 まなぶ 応用		
	74	第2課 みつける 応用		
	75	第3課 たべる 応用		
	76	第4課 たとえる 応用		
	77	第5課 あきれる 応用		
	78	確認テスト		
	79	第6課 つたえる 応用		
	80	第7課 かざる 応用		
	81	第8課 おもいこむ 応用		
	82	第9課 まもる 応用		
	83	第10課 なれる 応用		
	84	確認テスト		
	85	第11課 つながる 応用		
	86	第12課 わける 応用		
	87	第13課 おもいだす 応用		
	88	第14課 みなおす 応用		
	89	第15課 ふれあう 応用		
	90	確認テスト		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC1程度の日本語力を身につける			
教科書	中級を学ぼう 中級中期（スリーエーネットワーク）／テーマ別 上級で学ぶ日本語（研究社）			
特記				
授業計画	1	1課 色	31	第5課 さばく
	2	1課 色 復習	32	第5課 さばく 復習
	3	2課 ユーモア・ジョーク	33	確認テスト
	4	2課 ユーモア・ジョーク 復習	34	第6課 うやまう
	5	3課 制服	35	第6課 うやまう 復習
	6	3課 制服 復習	36	第7課 ふせぐ
	7	4課 算数	37	第7課 ふせぐ 復習
	8	4課 算数 復習	38	第8課 もてなす
	9	5課 遊びと運動	39	第8課 もてなす 復習
	10	5課 遊びと運動 復習	40	第9課 よびかける
	11	確認テスト	41	第9課 よびかける 復習
	12	6課 お金	42	第10課 えらぶ
	13	6課 お金 復習	43	第10課 えらぶ 復習
	14	7課 水	44	確認テスト
	15	7課 水 復習	45	第11課 いかす
	16	8課 遺伝	46	第11課 いかす 復習
	17	8課 遺伝 復習	47	第12課 つなぐ
	18	9課 漫画・アニメ・本	48	第12課 つなぐ 復習
	19	9課 漫画・アニメ・本 復習	49	第13課 たのしむ
	20	10課 ヒトと動物	50	第13課 たのしむ 復習
	21	10課 ヒトと動物 復習	51	第14課 きたえる
	22	確認テスト	52	第14課 きたえる 復習
	23	第1課 しる	53	第15課 いきる
	24	第1課 しる 復習	54	第15課 いきる 復習
	25	第2課 いたわる	55	確認テスト
	26	第2課 いたわる 復習	56	1課 色 応用
	27	第3課 ならう	57	2課 ユーモア・ジョーク 応用
	28	第3課 ならう 復習	58	3課 制服 応用
	29	第4課 よみとる	59	4課 算数 応用
	30	第4課 よみとる 復習	60	5課 遊びと運動 応用
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC1程度の日本語力を身につける			
教科書	中級を学ぼう 中級中期（スリーエーネットワーク）／テーマ別 上級で学ぶ日本語（研究社）			
特記				
授業計画	61	確認テスト	91	まとめテスト⑥
	62	6課 お金 応用	92	まとめテスト⑦
	63	7課 水 応用	93	まとめテスト⑧
	64	8課 遺伝 応用	94	まとめテスト⑨
	65	9課 漫画・アニメ・本 応用	95	まとめテスト⑩
	66	10課 ヒトと動物 応用	96	まとめテスト⑪
	67	確認テスト	97	まとめテスト⑫
	68	第1課 しる 応用	98	まとめテスト⑬
	69	第2課 いたわる 応用	99	まとめテスト⑭
	70	第3課 ならう 応用	100	まとめテスト⑮
	71	第4課 よみとる 応用		
	72	第5課 さばく 応用		
	73	確認テスト		
	74	第6課 うやまう 応用		
	75	第7課 ふせぐ 応用		
	76	第8課 もてなす 応用		
	77	第9課 よびかける 応用		
	78	第10課 えらぶ 応用		
	79	確認テスト		
	80	第11課 いかす 応用		
	81	第12課 つなぐ 応用		
	82	第13課 たのしむ 応用		
	83	第14課 きたえる 応用		
	84	第15課 いきる 応用		
	85	確認テスト		
	86	まとめテスト①		
	87	まとめテスト②		
	88	まとめテスト③		
	89	まとめテスト④		
	90	まとめテスト⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC2程度の日本語力を身につける			
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）			
特記				
授業計画	1	1. 遠距離結婚	31	15. 日本型雇用システム（2）
	2	1. 遠距離結婚 復習	32	15. 日本型雇用システム（2） 復習
	3	2. 「輝く女性」とは何なのか	33	確認テスト
	4	2. 「輝く女性」とは何なのか 復習	34	16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ
	5	3. 父親の育児参加	35	16. 日本的性別分業とM字型雇用カーブ 復習
	6	3. 父親の育児参加 復習	36	17. どうする？長時間労働
	7	4. 社内結婚、企業が後押し	37	17. どうする？長時間労働 復習
	8	4. 社内結婚、企業が後押し 復習	38	18. なぜコミュニケーション能力か
	9	5. 働き方	39	18. なぜコミュニケーション能力か 復習
	10	5. 働き方 復習	40	19. インターネットの隆盛
	11	確認テスト	41	19. インターネットの隆盛 復習
	12	6. なぜ少子化が社会問題なのか	42	20. ロボットの活用
	13	6. なぜ少子化が社会問題なのか 復習	43	20. ロボットの活用 復習
	14	7. 「買い物弱者」	44	確認テスト
	15	7. 「買い物弱者」 復習	45	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか
	16	8. 離れて暮らす親の見守り	46	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか 復習
	17	8. 離れて暮らす親の見守り 復習	47	22. 「ビッグデータ社会」
	18	9. ノーマライゼーションの地域をつくる	48	22. 「ビッグデータ社会」 復習
	19	9. ノーマライゼーションの地域をつくる 復習	49	23. 本当に「原発は安い」のか
	20	10. 高齢社会は怖くない	50	23. 本当に「原発は安い」のか 復習
	21	10. 高齢社会は怖くない 復習	51	24. タバコのもたらすもの
	22	確認テスト	52	24. タバコのもたらすもの 復習
	23	11. 学歴とは別のものさしで	53	25. 人間のおごり
	24	11. 学歴とは別のものさしで 復習	54	25. 人間のおごり 復習
	25	12. メディア機器・IT機器の影響	55	確認テスト
	26	12. メディア機器・IT機器の影響 復習	56	1. 遠距離結婚 応用
	27	13. 「主権者教育」	57	2. 「輝く女性」とは何なのか 応用
	28	13. 「主権者教育」 復習	58	3. 父親の育児参加 応用
	29	14. 日本型雇用システム（1）	59	4. 社内結婚、企業が後押し 応用
	30	14. 日本型雇用システム（1） 復習	60	5. 働き方 応用
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	日本語総合Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	8単位			
授業回数	100回			
授業概要	上級の総合的な日本語能力を培う			
授業の進め方	講義、問題演習、レポート作成および実技演習			
達成目標	日本語教育参照枠のC2程度の日本語力を身につける			
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）			
特記				
授業計画	61	確認テスト	91	まとめテスト⑥
	62	6. なぜ少子化が社会問題なのか 応用	92	まとめテスト⑦
	63	7. 「買い物弱者」 応用	93	まとめテスト⑧
	64	8. 離れて暮らす親の見守り 応用	94	まとめテスト⑨
	65	9. ノーマライゼーションの地域をつくる 応用	95	まとめテスト⑩
	66	10. 高齢社会は怖くない 応用	96	まとめテスト⑪
	67	確認テスト	97	まとめテスト⑫
	68	11. 学歴とは別のものさしで 応用	98	まとめテスト⑬
	69	12. メディア機器・IT機器の影響 応用	99	まとめテスト⑭
	70	13. 「主権者教育」 応用	100	まとめテスト⑮
	71	14. 日本型雇用システム（1） 応用		
	72	15. 日本型雇用システム（2） 応用		
	73	確認テスト		
	74	16. 日本の性別分業とM字型雇用カーブ 応用		
	75	17. どうする？長時間労働 応用		
	76	18. なぜコミュニケーション能力か 応用		
	77	19. インターネットの隆盛 応用		
	78	20. ロボットの活用 応用		
	79	確認テスト		
	80	21. AIは人間の仕事を奪ってしまうのか 応用		
	81	22. 「ビッグデータ社会」 応用		
	82	23. 本当に「原発は安い」のか 応用		
	83	24. タバコのもたらすもの 応用		
	84	25. 人間のおごり 応用		
	85	確認テスト		
	86	まとめテスト①		
	87	まとめテスト②		
	88	まとめテスト③		
	89	まとめテスト④		
	90	まとめテスト⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	聴解 I			
実務家教員				
学部・学科	日本語学科			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	講義および演習			
単位数	2単位			
授業回数	20回			
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る			
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習			
達成目標	日本語教育参照枠A2程度の聴解問題や日常生活の会話が聞き取れる			
教科書	みんなの日本語初級Ⅱ第2版 聴解タスク25（スリーエーネットワーク）／ドリル&ドリル日本語能力試験N4（UNIKOM）			
特記				
授業計画	1	第26課～第28課／ドリル&ドリルN4 第1回 課題理解	11	第26課～第28課／ドリル&ドリルN4 第1回 課題理解 応用
	2	第29課～第31課／ドリル&ドリルN4 第1回 ポイント理解	12	第29課～第31課／ドリル&ドリルN4 第1回 ポイント理解 応用
	3	第32課～第34課／ドリル&ドリルN4 第1回 発話表現	13	第32課～第34課／ドリル&ドリルN4 第1回 発話表現 応用
	4	第35課～第37課／ドリル&ドリルN4 第1回 即時応答	14	第35課～第37課／ドリル&ドリルN4 第1回 即時応答 応用
	5	確認テスト	15	確認テスト
	6	第38課～第40課／ドリル&ドリルN4 第2回 課題理解課	16	第38課～第40課／ドリル&ドリルN4 第2回 課題理解課 応用
	7	第41課～第43課／ドリル&ドリルN4 第2回 ポイント理解	17	第41課～第43課／ドリル&ドリルN4 第2回 ポイント理解 応用
	8	第44課～第46課／ドリル&ドリルN4 第2回 発話表現	18	第44課～第46課／ドリル&ドリルN4 第2回 発話表現 応用
	9	第47課～第50課／ドリル&ドリルN4 第2回 即時応答	19	第47課～第50課／ドリル&ドリルN4 第2回 即時応答 応用
	10	確認テスト	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	聴解Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義および演習
単位数	1単位
授業回数	10回
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	日本語教育参照枠B2程度の聴解問題や職場での会話が聞き取れる
教科書	テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック（研究社）／新毎日の聞きとり50日【上】（凡人社）
特記	
授業計画	1 第1課まなぶ（聞きましょうA・B）／1もしもし
	2 第2課みつける（聞きましょうA・B）／2旗のデザイン
	3 第3課たべる（聞きましょうA・B）／3海からの便り
	4 確認テスト
	5 第4課たとえる（聞きましょうA・B）／4カラスの子カー子ちゃん
	6 第5課あきれる（聞きましょうA・B）／5たためるピアノ
	7 第6課つたえる（聞きましょうA・B）／6日本人と果物
	8 確認テスト
	9 まとめテスト①
	10 まとめテスト②
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	聴解Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	ニュースの日本語聴解50 経済・金融① 政治・行政① 社会・生活①
	2	ニュースの日本語聴解50 経済・金融② 政治・行政② 社会・生活②
	3	ニュースの日本語聴解50 経済・金融③ 政治・行政③ 社会・生活③
	4	ニュースの日本語聴解50 経済・金融④ 政治・行政④ 社会・生活④
	5	確認テスト
	6	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑤ 政治・行政⑤ 社会・生活⑤
	7	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑥ 政治・行政⑥ 社会・生活⑥
	8	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑦ 政治・行政⑦ 社会・生活⑦
	9	ニュースの日本語聴解50 経済・金融⑧ 政治・行政⑧ 社会・生活⑧
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	聴解IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した聴解教材の学習、生教材を聞き取る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C2程度の聴解問題や専門的な話題の会話が聞き取れる	
教科書	留学生のためのアカデミックジャパニーズ聴解上級	
特記		
授業計画	1	第1課 応用問題演習
	2	第2課 応用問題演習及び要約
	3	第3課 応用問題演習及び要約
	4	確認テスト
	5	第4課 応用問題演習及び要約
	6	第5課 応用問題演習及び要約
	7	第6課 応用問題演習
	8	第7課 応用問題演習及び要約
	9	確認テスト
	10	まとめテスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解 I	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	日本語教育の参照枠A2程度の読解問題や簡単な文章が読めるようになる	
教科書	みんなの日本語初級Ⅱ第2版 初級で読めるトピック25（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第26課・第27課（本文、プラスアルファ）
	2	第28課・第29課（本文、プラスアルファ）
	3	復習
	4	第30課・第31課（本文、プラスアルファ）
	5	第32課・第33課（本文、プラスアルファ）
	6	復習
	7	第34課・第35課（本文、プラスアルファ）
	8	第36課・第37課（本文、プラスアルファ）
	9	復習
	10	第38課・第39課（本文、プラスアルファ）
	11	第40課・第41課（本文、プラスアルファ）
	12	復習
	13	第42課・第43課（本文、プラスアルファ）
	14	第44課・第45課（本文、プラスアルファ）
	15	復習
	16	第46課・第47課（本文、プラスアルファ）
	17	第48課・第49課（本文、プラスアルファ）
	18	復習
	19	第50課
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠B2程度の読解問題や新聞記事などがある程度のスピードで理解できる	
教科書	テーマ別中級から学ぶ日本語三訂版ワークブック（研究社）	
特記		
授業計画	1	第1課 まなぶ（読んでみましょう「どっちが大切」）・第2課 みつける（読んでみましょう「空がおみやげ」）
	2	第3課 たべる（読んでみましょう「ご飯ですよ」）・第4課 たとえる（読んでみましょう「テーブルに足がある」）
	3	確認テスト
	4	第5課 あきれる（読んでみましょう「子供とお酒」）・第6課 つたえる（読んでみましょう「食べられませんでした」）
	5	第7課 かざる（読んでみましょう「何も言わないかみの毛だけど」）・第8課 おもいこむ（読んでみましょう「水に気をつけて」）
	6	確認テスト
	7	第9課 まもる（読んでみましょう「いじめも情報時代」）・第10課 なれる（読んでみましょう「追うか追われるか」）
	8	第11課 つながる（読んでみましょう「まだ残っています」）・第12課 わける（読んでみましょう「強くはないからです」）
	9	確認テスト
	10	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1程度の読解問題や論文などが程度のスピードで理解できる	
教科書	中上級者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1 「中身当てクイズ」 佐藤雅彦・2 「お母さん みんなで食卓を囲む幸せ」 よしもとばなな
	2	3 「やっぱり敬語が必要なわけ」 橋本治・4 「シンプル」 山本昌代
	3	5 「ブツケ」 梅棹忠夫・6 「脳のはたらきを目で見てみよう」 川島隆太
	4	確認テスト
	5	7 「大根を半分」 沢木耕太郎・8 「隣人訴訟事件」 後藤昭
	6	9 「わざわざ書く」 宮沢章夫・10 「東京スカイツリーの秘密」 瀧井宏臣
	7	11 「天井裏」 村上春樹・12 「吟味された言葉」 大江健三郎
	8	13 「新社会人劇場」 倉本聰・14 「三十秒と三分」 阿刀田高
	9	確認テスト
	10	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	読解IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に準拠した読解教材の学習、生教材を読み込む	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C2程度の読解問題や論文などのある程度のスピードで読み、把握できる	
教科書	上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む（アルク）	
特記		
授業計画	1	1. 途中下車・2. 愛情としつけ
	2	3. 贈るかたちと意味・4. 鞆
	3	5. 平成おとぎ話・6. 「主人」から「夫」へ
	4	確認テスト
	5	7. 安楽死ということば・8. わすれ傘
	6	9. リーダーシップ論・10. 魚の骨
	7	11. 痛いといわなければ、痛くない・12. 国字作成のメカニズム
	8	13. 足の表現力・14. ソムリエの妻
	9	確認テスト
	10	定期試験
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	漢字表記 I
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義および演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習
達成目標	教科書が提出する文字・語彙を覚え適切に使用できる
教科書	みんなの日本語初級 I、II 第2版 漢字練習帳（スリーエーネットワーク）
特記	
授業計画	1 みんなの日本語初級 I 講義1
	2 みんなの日本語初級 I 復習テスト1
	3 みんなの日本語初級 I 講義2
	4 みんなの日本語初級 I 復習テスト2
	5 みんなの日本語初級 I 講義3
	6 みんなの日本語初級 I 復習テスト3
	7 みんなの日本語初級 I 講義4
	8 みんなの日本語初級 I 復習テスト4
	9 確認テスト
	10 みんなの日本語初級 II 講義1
	11 みんなの日本語初級 II 復習テスト1
	12 みんなの日本語初級 II 講義2
	13 みんなの日本語初級 II 復習テスト2
	14 みんなの日本語初級 II 講義3
	15 みんなの日本語初級 II 復習テスト3
	16 みんなの日本語初級 II 講義4
	17 みんなの日本語初級 II 復習テスト4
	18 確認テスト
	19 みんなの日本語初級 I 講義1・2応用
	20 みんなの日本語初級 I 復習テスト1・2応用
	21 みんなの日本語初級 I 講義3・4応用
	22 みんなの日本語初級 I 復習テスト3・4応用
	23 確認テスト
	24 みんなの日本語初級 II 講義1・2応用
	25 みんなの日本語初級 II 復習テスト1・2応用
	26 みんなの日本語初級 II 講義3・4応用
	27 みんなの日本語初級 II 復習テスト3・4応用
	28 確認テスト
	29 まとめテスト①
	30 まとめテスト②
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字表記Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書が提出する文字・語彙が適切に使用できる	
教科書	中級を学ぼう中級前期第2版（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課、第2課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	2	復習
	3	確認テスト
	4	第3課、第4課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	5	復習
	6	確認テスト
	7	第5課、第6課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	8	復習
	9	確認テスト
	10	第7課、第8課（ことばを確かめよう、漢字練習）
	11	復習
	12	確認テスト
	13	第1課、第2課（ことばを確かめよう、漢字練習） 応用
	14	確認テスト
	15	第3課、第4課（ことばを確かめよう、漢字練習） 応用
	16	確認テスト
	17	第5課、第6課（ことばを確かめよう、漢字練習） 応用
	18	確認テスト
	19	第7課、第8課（ことばを確かめよう、漢字練習） 応用
	20	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字表記Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書が提出する文字・語彙が使用場面による違いも含めて理解できる	
教科書	テーマ別 上級で学ぶ日本語三訂版（研究社）	
特記		
授業計画	1	第1課、2課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	2	確認テスト
	3	第3課、第4課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	4	確認テスト
	5	第5課、第6課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	6	確認テスト
	7	第7課、第8課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	8	確認テスト
	9	第9課、第10課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	10	確認テスト
	11	第11課、第12課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	12	確認テスト
	13	第13課、第14課（新しい言葉、漢字を練習しましょう）
	14	確認テスト
	15	まとめテスト①
	16	まとめテスト②
	17	まとめテスト③
	18	まとめテスト④
	19	まとめテスト⑤
	20	定期試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	漢字表記Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる文字・語彙を学習する	
授業の進め方	テキストを用いた講義および問題演習	
達成目標	教科書の提供する難易度の文字・語彙が使用できる	
教科書	日本語能力試験直前対策N1文字・語彙・文法	
特記		
授業計画	1	第1回 文字語彙 問題演習
	2	第1回 文字語彙 解説
	3	確認テスト
	4	第2回 文字語彙 問題演習
	5	第2回 文字語彙 解説
	6	確認テスト
	7	第3回 文字語彙 問題演習
	8	第3回 文字語彙 解説
	9	確認テスト
	10	第4回 文字語彙 問題演習
	11	第4回 文字語彙 解説
	12	確認テスト
	13	第5回 文字語彙 問題演習
	14	第5回 文字語彙 解説
	15	確認テスト
	16	第6回 文字語彙 問題演習
	17	第6回 文字語彙 解説
	18	確認テスト
	19	第7回 文字語彙問題演習および解説
	20	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本事情 I	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化に触れ、日本事情がある程度理解できる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	レポート作成 1
	4	講義 2
	5	レポート作成 2
	6	講義 3
	7	レポート作成 3
	8	講義 4
	9	レポート作成 4
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本事情Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化に触れ、日本事情がより深く理解できる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義1
	3	レポート作成1
	4	講義2
	5	レポート作成2
	6	講義3
	7	レポート作成3
	8	講義4
	9	レポート作成4
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本事情Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	学んだ日本文化事情についてのプレゼンテーションができる	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	レポート作成 1
	4	講義 2
	5	レポート作成 2
	6	講義 3
	7	レポート作成 3
	8	講義 4
	9	レポート作成 4
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本事情Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本文化の体験や日本事情について学習する	
授業の進め方	講義およびレポート作成	
達成目標	日本文化事情について解釈したことをプレゼンテーションする	
教科書	適宜指定する	
特記		
授業計画	1	授業ガイダンス
	2	講義 1
	3	レポート作成 1
	4	講義 2
	5	レポート作成 2
	6	講義 3
	7	レポート作成 3
	8	講義 4
	9	レポート作成 4
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	作文 I	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた短作文～作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	定められた時間内に原稿用紙1枚以上の作文が書ける	
教科書	みんなの日本語初級第2版やさしい作文（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	ユニット1 自己紹介
	2	ユニット2 わたしの部屋
	3	ユニット3 わたしの国・町
	4	ユニット4 わたしの家族
	5	発表
	6	ユニット5 週末
	7	ユニット6 はがき
	8	ユニット7 プレゼント
	9	ユニット8 旅行
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	作文Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	正しい文法を使用しつつ明確な文章が書ける	
教科書	東京大学教養学部のアカデミック・ジャパニーズJ-PEAK中級 (the japan times)	
特記		
授業計画	1	Unit 1 食べ物・飲み物の歴史（説明分を書く）
	2	Unit 2 田舎に住むか、都会に住むか（意見文を書く）
	3	Unit 3 大学生生活の過ごし方（説明文を書く）
	4	Unit 4 日本各地の魅力（記事を書く）
	5	発表
	6	Unit 5 新しい技術の影響（意見文を書く）
	7	Unit 6 「やる気」について（説明文を書く）
	8	Unit 7 図書館の将来（提案文を書く）
	9	Unit 8 生き物を守ろう（説明文を書く）
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	作文Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	複雑な話題について適切な構成で記述が行えるようになる	
教科書	大学で学ぶための日本語ライティング（ジャパンタイムス）	
特記		
授業計画	1	第1課 簡潔に回答する
	2	第2課 情報を文章にする
	3	第3課 状況を説明し、意見を述べる
	4	レポート作成
	5	第4課 段落を作る
	6	第5課 体験したことを報告する文を書く
	7	第6課 テーマに沿った意見文を書く
	8	第7課 自分をアピールする文を書く
	9	レポート作成
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	作文IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	既習語彙や文法を使用し、レベルに応じた作文を仕上げる	
授業の進め方	講義、問題演習およびレポート作成	
達成目標	話し言葉や書き言葉から得た情報を一貫した方法で再構成し、記述ができるようになる	
教科書	留学生のための時代を読み解く上級日本語第3版（スリーエーネットワーク）	
特記	課を選択して感想や意見を書く	
授業計画	1	課を選択して感想や意見を書く 1～3
	2	課を選択して感想や意見を書く 4～5
	3	課を選択して感想や意見を書く 6～10
	4	課を選択して感想や意見を書く 11～13
	5	発表
	6	課を選択して感想や意見を書く 14～16
	7	課を選択して感想や意見を書く 17～18
	8	課を選択して感想や意見を書く 19～23
	9	課を選択して感想や意見を書く 24～26
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話 I	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストを用いた講義および実技演習	
達成目標	日常生活での情報交換等が会話を通してスムーズに行える	
教科書	みんなの日本語初級 I、II 第2 版本冊（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	みんなの日本語初級 I 会話 1～7
	2	みんなの日本語初級 I 会話8～16
	3	みんなの日本語初級 I 会話17～21
	4	みんなの日本語初級 I 会話22～25
	5	発表
	6	みんなの日本語初級 II 会話1～7
	7	みんなの日本語初級 II 会話8～16
	8	みんなの日本語初級 II 会話17～21
	9	みんなの日本語初級 II 会話22～25
	10	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストを用いた講義および実技演習	
達成目標	具体的な話題でも抽象的な話題でも流暢に会話ができる	
教科書	東京大学教養学部のアカデミック・ジャパニーズJ-PEAK中級 (the japan times)	
特記		
授業計画	1	Unit 1 食べ物・飲み物の歴史（発表する）
	2	発表
	3	Unit 2 田舎に住むか、都会に住むか（ディベートをする）
	4	発表
	5	Unit 3 大学生活の過ごし方（発表する）
	6	発表
	7	Unit 4 日本各地の魅力（ディスカッションをする）
	8	発表
	9	Unit 5 新しい技術の影響（ディベートをする）
	10	発表
	11	Unit 6 「やる気」について（発表する）
	12	発表
	13	Unit 7 図書館の将来（ディスカッションをする）
	14	発表
	15	Unit 8 生き物を守ろう（発表する）
	16	発表
	17	まとめテスト①
	18	まとめテスト②
	19	まとめテスト③
	20	まとめテスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会話Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	2年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義および演習
単位数	1単位
授業回数	20回
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習
達成目標	専門的な話題に対して議論しあえる
教科書	日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現（スリーエーネットワーク）
特記	
授業計画	1 第1課 自己紹介で好印象をあたえよう
	2 発表
	3 第2課 きっかけを語ろう
	4 発表
	5 第3課 なくした体験を話そう
	6 発表
	7 第4課 町の様子を話そう
	8 発表
	9 第5課 動きの順序を説明しよう
	10 発表
	11 第6課 スポーツのおもしろさを伝えよう
	12 発表
	13 第7課 言いかえて説明しよう
	14 発表
	15 第8課 比べて良さを伝えよう
	16 発表
	17 まとめテスト①
	18 まとめテスト②
	19 まとめテスト③
	20 まとめテスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会話IV	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	20回	
授業概要	教科書に出てくる会話の暗記、応用、ロールプレイ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技演習	
達成目標	正確な自己表現や複雑な会話状況における細かい意味の違いの理解ができるようになる	
教科書	日本語超級話者へのかけはし（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	第1課 実技演習（短く的確に伝える）
	2	発表
	3	第2課 実技演習（インフォーマルな話し方を身に着ける）
	4	発表
	5	第3課 ロールプレイ（心情を表す表現を使う）
	6	発表
	7	第4課 ロールプレイ（相手に同調して話を聞く）
	8	発表
	9	第5課 実技演習（待遇表現を使う）
	10	発表
	11	第6課 実技演習（グラフを用いて説明する）
	12	発表
	13	第7課 ディベート演習（異なる視点から意見を述べる）
	14	発表
	15	第8課 実技演習（構成を考えて説明する）
	16	発表
	17	まとめテスト①
	18	まとめテスト②
	19	まとめテスト③
	20	まとめテスト④
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策 I	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2022年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	確認テスト
	6	〔第2回〕日本語（記述）
	7	〔第2回〕日本語（読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴読解）
	9	〔第2回〕日本語（聴解）
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2023年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	確認テスト
	6	〔第2回〕日本語（記述）
	7	〔第2回〕日本語（読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴読解）
	9	〔第2回〕日本語（聴解）
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本留学試験対策Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本留学生試験の演習と解説	
授業の進め方	問題演習と解説	
達成目標	日本留学試験の各科目において目標とする点数を取得する	
教科書	2024年度日本留学試験試験問題〔第1回〕〔第2回〕（凡人社）	
特記		
授業計画	1	〔第1回〕日本語（記述）
	2	〔第1回〕日本語（読解）
	3	〔第1回〕日本語（聴読解）
	4	〔第1回〕日本語（聴解）
	5	確認テスト
	6	〔第2回〕日本語（記述）
	7	〔第2回〕日本語（読解）
	8	〔第2回〕日本語（聴読解）
	9	〔第2回〕日本語（聴解）
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	日本語能力試験対策 I
実務家教員	
学部・学科	日本語学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	講義および演習
単位数	1単位
授業回数	10回
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	日本語教育参照枠A2レベルの試験に合格できる日本語力を身につける
教科書	日本語能力試験完全模試N5（Jリサーチ出版）／日本語能力試験公式問題集第二集（凡人社）
特記	
授業計画	1 第1回 日本語能力試験完全模試N5（文字語彙・文法）
	2 第1回 日本語能力試験完全模試N5（読解・聴解）
	3 第2回 日本語能力試験完全模試N5（文字語彙・文法）
	4 第2回 日本語能力試験完全模試N5（読解・聴解）
	5 第3回 日本語能力試験完全模試N5（文字語彙・文法）
	6 第3回 日本語能力試験完全模試N5（読解・聴解）
	7 確認テスト
	8 日本語能力試験公式問題集第二集（文字語彙・文法）
	9 日本語能力試験公式問題集第二集（読解・聴解）
	10 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠B2レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	JLPT日本語能力試験完全模試N3（Jリサーチ出版）／JLPT日本語能力試験完全模試N2（Jリサーチ出版）	
特記		
授業計画	1	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	2	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	3	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	4	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	5	第3回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（文字語彙・文法）
	6	第3回 JLPT日本語能力試験完全模試N3（読解・聴解）
	7	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（文字語彙・文法）
	8	第1回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（読解・聴解）
	9	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（文字語彙・文法）
	10	第2回 JLPT日本語能力試験完全模試N2（読解・聴解）
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本語能力試験対策Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	日本語学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	講義および演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	日本語能力試験対策（文字語彙・文法・読解・聴解）	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	日本語教育参照枠C1レベルの試験に合格できる日本語力を身につける	
教科書	日本語能力試験N2・N1模擬テスト 千駄ヶ谷日本語能力研究所著（スリーエーネットワーク）	
特記		
授業計画	1	日本語能力試験N2模擬テスト<1> 演習
	2	日本語能力試験N2模擬テスト<1> 解説
	3	日本語能力試験N2模擬テスト<2> 演習
	4	日本語能力試験N2模擬テスト<2> 解説
	5	確認テスト
	6	日本語能力試験N1模擬テスト<1> 演習
	7	日本語能力試験N1模擬テスト<1> 解説
	8	日本語能力試験N1模擬テスト<2> 演習
	9	日本語能力試験N1模擬テスト<2> 解説
	10	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識及び技術等を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢及び出席状況を含め総合的に評価	
備考		